



地人館 E-books  
Compact

デモ版 pdf

親鸞がみずから書いた  
浄土真宗の「信心」の心髄

## 正信念仏偈（正信偈）

❖原文・読み下し・解説口語訳

大角 修 著



## はじめに

「しやうしんねんぶつげ正信念仏偈」略して「しやうしんげ正信偈」は、真宗・浄土真宗の開祖である親鸞しんらん聖人自身がつくり、主書『きやうぎやうしんしやう教行信証』の「行巻」の結びとした偈である。

偈とは、古代インドでバラモンの司祭たちが神々を讃えた祭文に始まり、漢訳経典でも教えをとなえる詩文として多く記されている。「正信偈」は漢詩に似た一句七言じちんの形で百二十句におよぶ長い偈文で、二句ずつ六十行に記されている。

本書はその一行ごとに、原文、読み下し文、語句の説明をくわえた解説口語訳の順に掲載した。正信偈は真宗・浄土真宗で「お経」のひとつとしてよく読誦どくじゆされている。本書の原文の読みは浄土真宗本願寺派によるが、読経どきやうで音をのばす音引きは表記していない。

正信念仏偈（正信偈）

歸命無量壽如來

法藏菩薩因位時

觀見諸仏淨土因

建立無上殊勝願

五劫思惟之摂受

普放無量無邊光

清淨歡喜智慧光

超日月光照塵刹

本願名号正定業

成等覺証大涅槃

如來所以興出世

五濁惡時群生海

能發一念喜愛心

凡聖逆謗齊廻入

南無不可思議光

在世自在王仏所

国土人天之善惡

超發希有大弘誓

重誓名聲聞十方

無得無对光炎王

不斷難思無称光

一切群生蒙光照

至心信樂願為因

必至滅度願成就

唯說弥陀本願海

応信如來如実言

不斷煩惱得涅槃

如衆水入海一味

摂取心光常照護

已能雖破無明闇

貪愛瞋憎之雲霧

常覆真信心天

譬如日光覆雲霧

雲霧之下明無闇

獲信見敬大慶喜

即横超截五惡趣

一切善惡凡夫人

聞信如來弘誓願

仏言広大勝解者

是人名分陀利華

弥陀仏本願念仏

邪見憍慢惡衆生

信樂受持甚以難

難中之難無過斯

印度西天之論家

中夏日域之高僧

顕大聖興世正意

明如來本誓心機

釈迦如來楞伽山

為衆告命南天竺

龍樹大士出於世

悉能摧破有無見

宣説大乘無上法

証歡喜地生安樂

顕示難行陸路苦

信樂易行水道樂

憶念弥陀仏本願

自然即時入必定

唯能常称如來号

応報大悲弘誓恩

天親菩薩造論説

歸命無碍光如來

依修多羅蹟真実

光闡横超大誓願

広由本願力廻向

為度群生彰一心

歸入功德大宝海

必獲入大会衆數

得至蓮華藏世界

即証真如法性身

遊煩惱林現神通

入生死藪示応化

本師曇鸞梁天子

常向鸞処菩薩礼

三藏流支授淨教

焚燒仙經歸衆邦

天親菩薩論註解

報土因果蹟誓願

往還廻向由他力

正定之因唯信心

惑染凡夫信心発

証知生死即涅槃

必至無量光明土

諸有衆生皆普化

道綽決聖道難証

唯明淨土可通入

万善自力貶勲修

円満徳号勸専称

三不三信誨懇勸

像末法滅同悲引

一生造惡債弘誓

至安養界証妙果

善導独明仏正意

矜哀定散与逆惡

光明名号蹟因縁

開入本願大智海

行者正受金剛心

慶喜一念相心後

与韋提等獲三忍

即証法性之常樂

源信広開一代教

偏歸安養勸一切

専雜執心判淺深

報化二土正弁立

極重惡人唯称仏

我亦在彼撰取中

煩惱障眼雖不見

大悲無倦常照我

本師源空明仏教

憐愍善惡凡夫人

真宗教証興片州

選択本願弘惡世

還來生死輪轉家

決以疑情為所止

速入寂靜無為樂

必以信心為能入

弘經大士宗師等

拯濟無辺極濁惡

道俗時衆共同心

唯可信斯高僧説

正信念仏偈（正信偈）

歸命無量壽如來 南無不可思議光

無量壽如來に歸命し、不可思議光に南無したてまつる。

は  
は  
とわに時を超えてまします無量壽如來（阿彌陀仏）に歸依し、不可思議の光明を放つ阿彌陀如來に礼  
拝したてまつる。

ほうぞうぼさついに  
法藏菩薩因位時  
ざいせじざいおうぶつしよ  
在世自在王仏所

法蔵菩薩は因位の時、世自在王仏の所に在し、

はるかな過去世に一人の国王が出家して菩薩の道（大乘仏教）の修行者になった。名を法蔵という。長い求法ののちに阿弥陀仏となる菩薩である。その過去の世には世自在王仏が在り、そのみもとに菩薩はみもとに参詣した。

## 觀見諸仏淨土因 国土人天之善惡

觀見す、諸仏の淨土の因、国土・人天之善惡を。

諸仏は皆、それぞれに衆生濟度を誓つて、その誓いと願いを成就して仏になり、それぞれに仏の国を建てられた。清い幸いの国であるから淨土と申しあげる。しかし、仏の国土にいる人びとや神々にも、その性格が善い者もあれば悪い者もある。法蔵菩薩は諸仏の淨土の由来を觀じて、その国土の人びとと神々の善惡のおもむくところを見極めた。



建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

そして法蔵菩薩は、無上にして殊勝なる本願を堅固に立て、比類なき大弘誓を発願したのである。

五劫思惟之摂受 重誓名声聞十方

五劫に之を思惟して摂受す。重ねて誓うは名声十方に聞こえんと。

その誓願は、五劫という久遠の時に思惟して選り取られた本願・本誓である。法蔵菩薩は重ねて、その救いの御名があまねく十方に聞こえるようにしようと誓った。

ほんしげんくうみやうぶつぎよう  
**本師源空明仏教**  
れんみんぜんまくほんぶにん  
**憐愍善悪凡夫人**

ほんしげんくう  
本師源空は仏教を明らかにして、善悪の凡夫人を憐愍し、

ほんしげんくう  
本師源空（我が師、法然上人）は釈迦牟尼仏の教えを明らかにして、善悪の別なく人びとが苦しみ、  
救いの閉ざされていることを憐れんで、

しんしゆうきようしゆうこうへんしゆう  
**真宗教証興片州**  
せんじやくほんがんぐあくせ  
**選択本願弘悪世**

きようしゆう  
真宗の教証を片州に興し、  
せんじやくほんがんあくせ  
選択本願を悪世に弘む。

浄土に至る真実の門を東海の辺境である日本で興し、選択本願（阿弥陀仏によつて選び取られた本願）の教えを、この末法の悪世に広められた。

還來生死輪轉家

決以疑情為所止

生死輪轉の家に還來することは、決するに疑情を以て所止と為す。

法然上人は、生死輪轉の苦しみの家に繰り返し生まれるのは、疑いの心にとどまっているからであると決せられた。

速入寂靜無為樂 必以信心為能入

速かに寂靜無為の樂に入ることは、必ず信心を以て能入と為すといえり。

速かに寂靜たる無為(さとの静まり)の樂土である浄土に入るのは、必ず信心によってできると説かれた。

弘経大士宗師等 拯済無辺極濁悪

弘経の大士・宗師等、無辺の極濁悪を拯済したまう。

仏法の宣教者にして菩薩道の偉大な求法者であるこれらの宗師等は、限りない極悪の人びとを救いたまう。

道俗時衆共同心 唯可信斯高僧説

道俗時衆、共に同心に、唯斯の高僧の説を信ず可し。

出家であれ在家であれ、いまの時代を生きる人びとは、共に心と同じくして、ただこれら高僧の言葉に信をささげよ。



地人館  
E-books

---

## 大角 修 (おおかど おさむ)

---

1949年 兵庫県姫路市生まれ。東北大学文学部宗教学科卒。

(有)地人館代表。仏教・日本文化史などを中心に編集・執筆活動を行う。

著書

『日本人の死者の書』(NHK出版・生活人新書)『全文現代語訳 浄土三部経』(角川ソフィア文庫)『浄土三部経と地獄・極楽の事典 信仰・歴史・文学』(春秋社)『日本仏教の基本経典』(角川選書)『新日本の歴史』全5巻(小峰書店)『天皇家のお葬式』(講談社現代新書)『仏教百人一首 万葉の歌人から宮沢賢治まで』(法蔵館)『宮沢賢治コミカル童話選』『絵入り往生要集』(地人館 E-books) など多数

---

## しょうしんねんぶつ げ しょうしん げ 正 信念仏偈 (正信偈)

---

著者 おおかど おさむ  
大角 修

2021年5月

発行 ち じんかん  
地人館

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 6-56-6 長戸ビル 3階

Tel 03-6806-7937 Fax03-6806-7937

<http://chijinkan.com>

©2021 Osamu Okado